



令和5年2月13日
海上保安庁

未来の海上通信を議論します！

～世界各国の専門家が集結！オープンフォーラムを開催～

海上保安庁では、2月20日（月）～2月24日（金）までの間、「デジタル海上通信に関するワークショップ」を、東京海洋大学（東京都江東区）で開催します。

本ワークショップの初日には各国専門家によるオープンフォーラムを開催し、一般の皆様も参加可能です。

- 本ワークショップは航行援助分野の国際標準化等に取り組んでいるIALA^{※1}が主催し、VDES^{※2}の国際標準化等、将来の海上通信の発展について議論を行う予定です。
- ワorkshop初日のオープンフォーラムでは、日本を含む各国専門家によるデジタル海上通信に関する将来構想、最新技術、実証実験で得られた知見等の発表の後、パネルディスカッションが行われます。
- 20日（月）午後はIALAに参画している国内企業による、次世代海上通信機器等の展示も予定しており、オープンフォーラムご参加の皆様もご覧頂けます。
- オープンフォーラム日時及び場所
 - (1)日時 令和5年2月20日（月）13：00～17：30
 - (2)場所 東京都江東区越中島2-1-6
国立大学法人東京海洋大学越中島キャンパス 越中島会館講堂
 - (3)定員 100名（先着順）
 - (4)申込方法 以下のリンクからお申し込みが可能です。
（申込期限：令和5年2月17日（金）17：00）
<https://nws.stage.ac/vdes-form/>
 - (5)参加費 無料
 - (6)その他 日英同時通訳あり
12：00開場、受付開始



※オープンフォーラム以外のプログラムは非公開となります。

- 問い合わせ先 海上保安庁交通部企画課国際・技術開発室
03-3591-6361（内6804）

※1 IALA（国際航路標識協会）：安全かつ能率的な船舶の移動を目的とした航路標識の改善及び継続的な調和のため、1957年にフランス国内法に基づいてフランスに設立された世界各国の航路標識当局及びその他の組織から構成される非営利団体。

※2 VDES（VHF Data Exchange System）：AIS^{※3}（船舶自動識別装置）の通信容量の拡大及び通信の高速化に資する新たな海上デジタル通信方式

※3 AIS：船舶の位置や速力等の情報を船舶間及び船舶と陸上施設との間で自動的に送受信できる装置